

職場決議 (案)

いのちまもる医療・介護・福祉労働者は 「戦争法案」に反対です。

安倍自公政権が国会会期を延長し成立させようとしている「戦争法案」は、あらゆる場合に自衛隊が海外に出動し、「いつでも、どこでも、切れ目なく」他国の戦争に介入し、武力を行使できるようにするものです。

私たちは、先の大戦で海外での侵略戦争に従軍看護婦として動員された痛苦の体験から「ふたたび白衣を戦場の血で汚(けが)さない」ことを合言葉に、平和といのちまもる課題を結成以来60年間、一貫して産別の最重要課題として位置づけて運動にとりくんできました。国民のいのちと健康を守る医療・介護・福祉労働者として、直ちに同法案を撤回することを求めます。

以上、職場から決議します。

2015年 9月18日

組織名【全日本国立医療労働組合】

施設名【長島支部】

職場・所属【女性部】 15名

【賛同者の名前やメッセージなど】

この戦争法案は過去の過ちを繰り返す
だけではなく、こくみんの
生命を脅かす行為を反対!!



職場決闘 (案)

いのちまもる医療・介護・福祉労働者は 「戦争法案」に反対です。

安倍自公政権が国会会期を延長し成立させようとしている「戦争法案」は、あらゆる場合に自衛隊が海外に出動し、「いつでも、どこでも、切れ目なく」他国の戦争に介入し、武力を行使できるようにするものです。

私たちは、先の大戦で海外での侵略戦争に従軍看護婦として動員された痛苦の体験から「ふたたび白衣を戦場の血で汚(けが)さない」ことを含意策に、平和といのちまもる課題を結成以来60年間、一貫して産別の最重要課題として位置づけて運動にとりくんできました。国民のいのちと健康を守る医療・介護・福祉労働者として、直ちに同法案を撤回することを求めます。

以上、職場から決議します。

平成27年 9月18日

組織名【全日本国立医療労働組合】

施設名【長島支部】

職場・所属【執行部】 20名

【賛同者の名前やメッセージなど】

医療介護福祉労働者もふたたび、戦場にはあがらない!!



いのちまもる医療労働者として「戦争法案」に反対する決議(案)

安倍政権は、7月16日の衆議院本会議で「安全保障関連法案」を自民・公明両党によって強行採決しました。また参議院本会議でも、本日中に強行採決されようとしています。大幅に会期を延長してまで成立させようとしているこの法案には「平和」という言葉が散りばめられています。しかし、その中身はあらゆる場合に自衛隊が海外に出動し、「いつでも、どこでも、切れ目なく」他国の戦争に介入し、武力を行使できるようにするものであり、まさに日本を「戦争する国」に変える「戦争法案」です。この法案が成立すれば、政府はさらに来年の参議院議員選挙後に、憲法の明文改憲をも企てています。憲法審査会で立憲主義をテーマに招致された参考人の憲法学者3氏も、「集団的自衛権行使を可能にする戦争法案について『憲法に違反する』」との認識を表明しました。これまで憲法9条で歯止めがかけられていましたが、この法案が成立すれば、医療機関や医療労働者も、殺し殺される戦争への協力が迫られることとなります。

私たちは、戦争に動員された先輩たちの苦い経験から、「ふたたび戦場の血で白衣を汚さない」決意のもと、平和な社会をつくる運動にとりくんできました。軍備を増強し、戦争にむかう時、人権が制約され、社会保障が削られます。平和は私たちの要求を実現するための土台であり、平和であってこそよい医療・介護が実現できます。

いま、「戦争法案」に反対する国民的な世論と運動が急速に高まっています。3万人が横浜に集まった5月3日の「憲法集会」をはじめ、国会周辺で行われた6月24日の「止めよう！憲法立法総がかり国会包囲行動」にも3万人が参加し、連日集会やデモなどが取り組まれています。SEALDs（シールズ）をはじめ、10代～20代の学生や若者が戦争や秘密保護法に反対して「戦争法案に反対する国会前抗議行動」「戦争立法に反対する渋谷デモ」を連日行っています。このような活動は中央にとどまらず全国に広がっており、九州各地でも若者を含め広範な人々が立ち上がり声を上げています。また、地方議会においても戦争法案に「反対」「慎重審議を求める」意見書の採択が、7月9日現在で331議会にも上っています。

日本と世界の平和にとって、いま必要なのは、平和憲法を世界中にひろげることです。私たちは、この「戦争法案」に反対し、国民のいのちを守り、生きることを支える医療労働者として、戦争する国づくりを阻止し、社会保障を拡充して安全・安心の医療・介護の実現をめざす運動の先頭に立って奮闘することを決意します。

2015年9月18日

全医労長崎支部定期大会

158名 採択済み。

職場決議 (案)

いのちまもる医療・介護・福祉労働者は 「戦争法案」に反対です。

安倍自公政権が国会会期を延長し成立させようとしている「戦争法案」は、あらゆる場合に自衛隊が海外に出動し、「いつでも、どこでも、切れ目なく」他国の戦争に介入し、武力を行使できるようにするものです。

私たちは、先の大戦で海外での侵略戦争に従軍看護婦として動員された痛苦の体験から「ふたたび白衣を戦場の血で汚(けが)さない」ことを合言葉に、平和といのちまもる課題を結成以来60年間、一貫して産別の最重要課題として位置づけて運動に取り組んできました。国民のいのちと健康を守る医療・介護・福祉労働者として、直ちに同法案を撤回することを求めます。

以上、職場から決議します。

年 月 日

組織名【全日本国立医療労働組合】

施設名【長島支部】

職場・所属【青年部】 11名

【賛同者の名前やメッセージなど】

すべての生き命を守るにも、戦争法案は
断固反対!!



職場決議 (案)

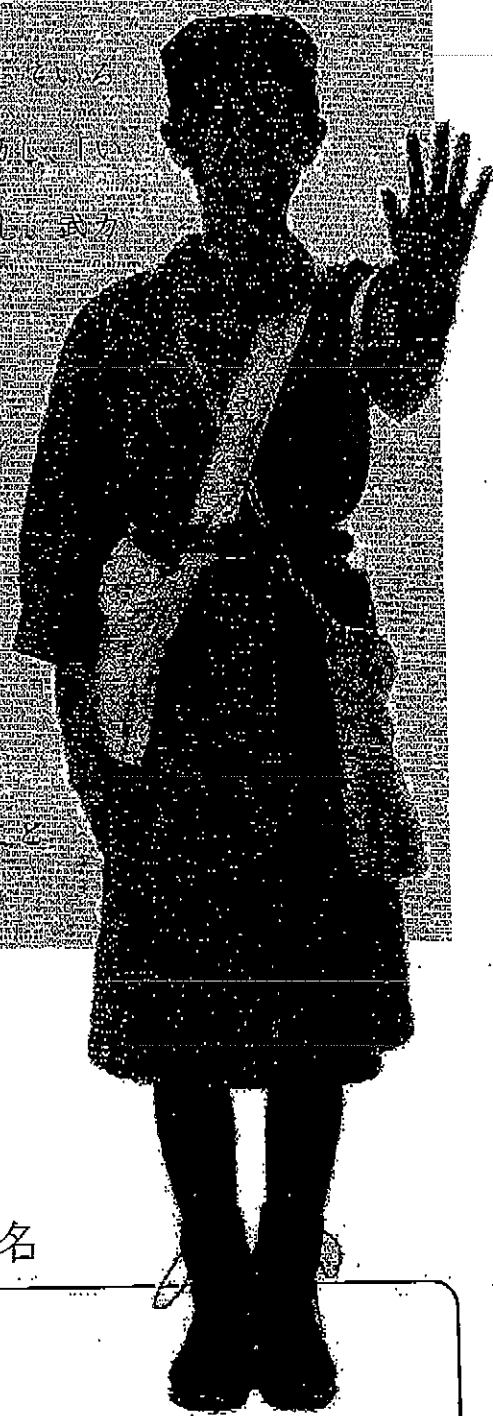
いのちまもる医療・介護・福祉労働者は 「戦争法案」に反対です。

安倍首相が国会会期を延長し、成立させようとしている「戦争法案」は、あらゆる場合に自衛隊が海外に派兵し、武力行使を許すことになり、他国の領土に侵入し、武力行使を許すことになるもので、

また、先の大戦で海外での長距離飛行が戦争の本質として発見された痛手のため、日本は戦争が益でかたがた進んだこと、国会で、

日本が戦後60年間、平和憲法を掲げ、60年間、一貫して平和の道を歩いてきたことを、

国民のいのちと健康を守る医療・介護・福祉労働者として、道義的に同法案を撤回することを求めます。



以上、職場から決議します。

2015年 9月 15日

組織名【 全医労 】

施設名【 八雲支部 】

職場・所属【 支部定期大会 】 ⁴¹~~25~~ 名

【賛同者の名前やメッセージなど】

.....